

- この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。



- この説明書では、形材門扉 落し錠の取付方法のみ記載しています。
- 門扉本体の施工については、「門柱セット」および「ヒンジセット」に付属の施工説明書を参照してください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

| 絵表示 | 意味  | 絵表示 | ご使用上の注意とお願い           |
|-----|---|-----|-----------------------|
|     | この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。 |     | 「必ず行っていただくこと」を示しています。 |

## 梱包明細

- 施工前に、部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部品（ビス含）以外は使用しないでください。

| 梱包名称  | 梱包内容  | ※（ ）は個数を表しています。 |
|-------|---|-----------------|
| 門扉落し錠 | 落し錠本体 (1)・φ4×10 トラスタッピン3種 (4)・落し錠ガイド (1)・落し受けツボ (1)・施工説明書 [ME-1156] (1) |                 |

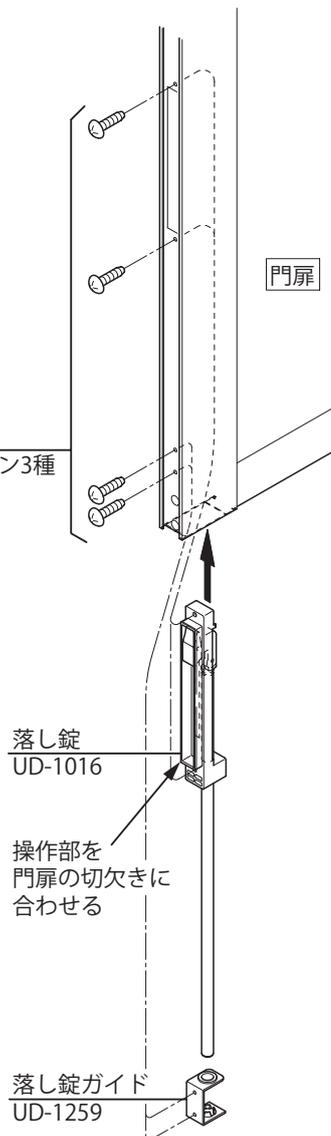
## 1 落し錠の取付け

- ①門扉の縦枠の下側より、落し錠および落し錠ガイドを挿入して取付けてください。

### 注意

- 必ず、ハンドドライバーを使用してください。
- インパクトドライバーなどの電動工具を使用しないでください。  
※トルクが強いと、破損や施工不良の原因となります。

φ4×10  
トラスタッピン3種



落し錠の操作部を門扉の切欠きに合わせて取付けてください。

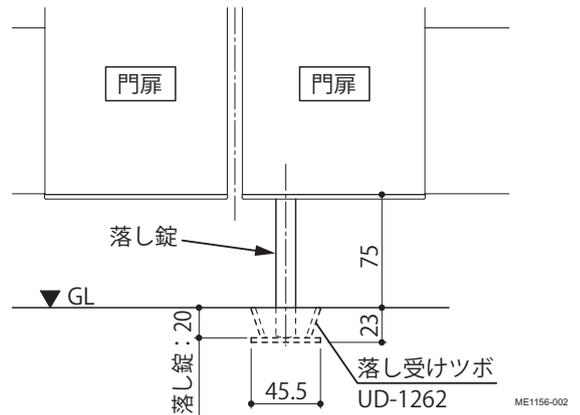
落し錠の取付け後、「縦枠キャップ」の施工説明書 [ME-2151] を参照して、縦枠キャップ(下)を取付けてください。

落し錠 UD-1016  
操作部を門扉の切欠きに合わせる

落し錠ガイド UD-1259

## 2 落し受けツボの取付け

- ①門扉の落し錠の位置に合わせて、落し受けツボを埋め込んでください。

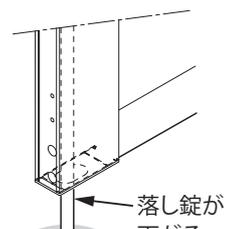
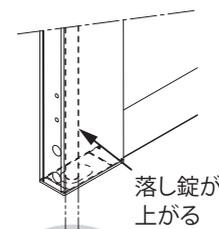


### ●落し錠の操作方法

落し錠を上げる



落し錠を下げる



ME1156-001

ME1156-004